

## 第5 無線通信補助設備（令第29条の3）

### 5.1 設置を要する防火対象物

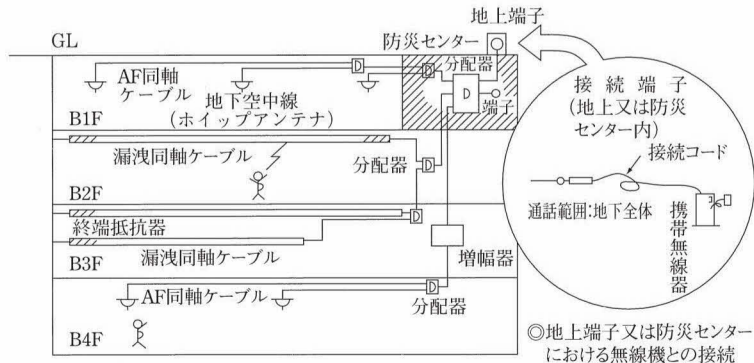
(1)

防火対象物	規模等	一 般
(16の2)項		延べ面積1,000㎡以上

### 5.2 （例）無線通信補助設備構成図

(1) 電波を搬送するものとしては、次の3種類がある。

- ア 漏洩同軸ケーブル方式
- イ 漏洩同軸ケーブルと空中線方式
- ウ 同軸ケーブルと空中線方式

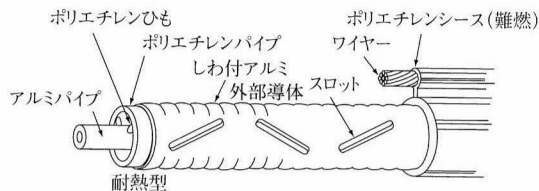


5.2 図1 無線通信補助設備の構成図

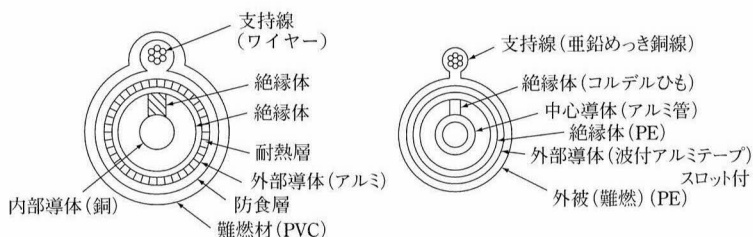
#### ④ 第5 無線通信補助設備

##### 5.3 (例) 漏洩同軸ケーブル図 (規則 31 の 2 の 2 (1))

- (1) 特長として、一様な電界をケーブルに沿って広範囲に放射できるなどがある。



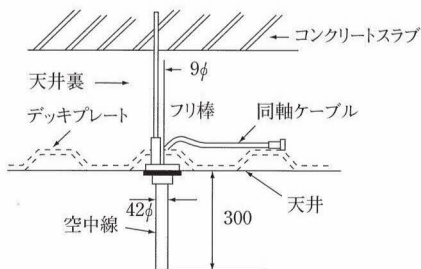
5.3 図1 漏洩同軸ケーブルの一例



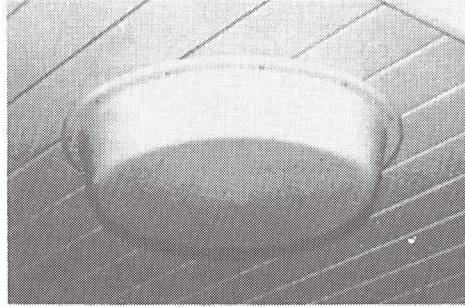
5.3 図2 漏洩同軸ケーブルの断面の一例

##### 5.4 空中線例図 (規則31の2の2(1))

- (1) 5.4 図1 に示すものは同心円状に方向性をもたずに電波を放出する特長があるので、比較の見通しのよい場所に設置すると効果的である。一般には保護容器がかぶさっていて5.4 図2 のような外観となる。



5.4 図1 空中線の外観図の一例

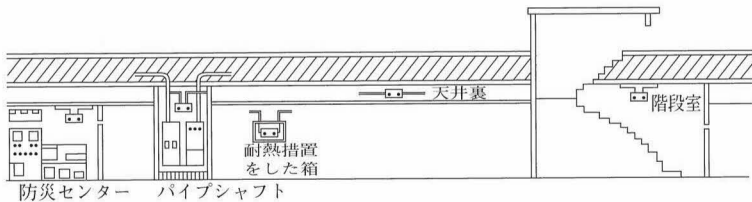


5.4 図2 空中線（実際に設置されたところ）

5.5 防火上有効な措置を講じた場所（規則31の2の2(7)ハ）

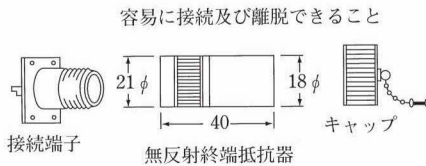
(1) 防火上有効な措置を講じた場所とは次に掲げる場所をいう。

- ア 防災センター，中央管理室，電気室等で壁，床，天井が不燃材料で造られており，かつ開口部に防火設備である防火戸を設けた室内
- イ 不燃材料で区画された天井裏
- ウ 耐火性能を有するパイプシャフト（ピット等を含む。）内
- エ 特別避難階段又は避難階段の階段室内
- オ その他上記に類する場所で延焼のおそれのない場所又は耐熱効果のある箱内

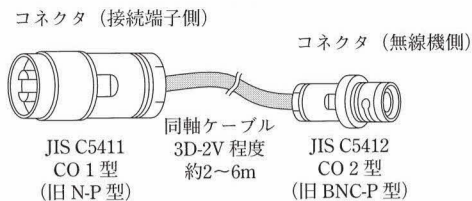


5.5 図1 地下街における増幅器の設置場所（混合器等についても同様である。）

5.6 接続端子（規則31の2の2(8)）



5.6 図1



5.6 図2